



平成 28 年 5 月 2 日

歌舞伎の学校

校長 立木 常雄 様

KAKEHASHI プロジェクト カナダ ビジネススクール大学生訪日団
招へいプログラムに係るお礼状のご送付

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当センター業務に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

先日は標記プログラムにおきまして、大変ご多忙の中、多大なるご協力を賜り誠にありがとうございました。お礼状をご送付申し上げますので、ご査収の程よろしくお願い申し上げます。お礼が遅くなりまして心よりお詫び申し上げます。

今後とも当センターの事業につきましてご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬具

同封書類

- ・お礼状 1 部
- ・訪日団アンケート抜粋 1 部
- ・プログラム記録写真 1 部

本件に係る連絡先：

一般財団法人日本国際協力センター（JICE）

中部支所 内木

TEL：052-201-0881 FAX：052-201-0886

E-mail:naiki.kyoko@jice.org

URL: <http://sv2.jice.org/>

平成 28 年 5 月 2 日

歌舞伎の学校

校長 立木 常雄 様

一般財団法人日本国際協力センター
中部支所長 中野 則之



「KAKEHASHI プロジェクト」

カナダ ビジネススクール大学生訪日団 受入について (御礼)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より当センターの事業につきまして、多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度は標記事業に関し、多大なるご協力を頂きまして、誠に有り難うございました。

訪日団は本事業への参加を通して、各地で日本及び日本人の魅力に触れ、日本への興味を深めて帰国いたしました。これもひとえに皆様のご尽力の賜物と深く感謝しております。

プログラム終了後のアンケートには今回の訪問が非常に有意義で貴重な経験であったとのコメントが多数寄せられました。一部ではございますが、訪日団コメントと訪問時の写真を別紙のとおりお送りいたします。

訪日団は帰国後、今回多くの方々の善意で実現しました経験を母国において発信し、日本へのさらなる理解に繋がられるよう働きかけてまいります。皆様におかれましても今回の訪日団の訪問が、今後北米地域との絆を発展させていく契機になりましたら幸甚です。

今後とも本事業についてお力添えを賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具